

Book Review



基本からマスターする

開業医のための智歯抜歯

手技 & 画像診断・難易度評価

神部芳則・大橋 豪 編著



Reviewer

濱田良樹 Yoshiki Hamada

(鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座)

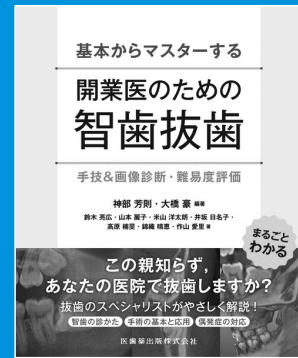
AB判, 112頁

カラー

定価 8,800円

(本体 8,000円+税 10%)

医歯薬出版刊



はじめに、本書の読後の印象を問われたなら、“開業歯科医院で働く先生方が智歯抜歯を手掛けるにあたって、当然知っていなければならない基本的事項が網羅された手頃なテキスト”と答えます。具体的には、抜歯のスペシャリストに加え、歯科麻酔医や歯科衛生士が、各々担当する項目について、豊富な写真やイラストを用いてやさしく解説しており、智歯抜歯に関わる診療の流れを疑似体験できる構成になっています。したがって、本書は、開業医に限らず、智歯抜歯について基本からマスターしたいと考えている歯科医師であれば、どなたにとっても価値ある一冊になると思います。

さて、あらためて本書の表紙を見ますと、「この親知らず、あなたの医院で抜歯しますか？」との問い掛けがあります。これは、「この親知らず、あなたの医院で安全に抜歯できますか？」ということだと思いますが、実は、このキャッチーな“問い掛け”こそ、本書の真価を物語っています。ぜひ、この“問い掛け”を念頭に本書を

読んでみてください。特に、智歯抜歯の難易度評価に関するくだりは、必見・必読です。智歯抜歯を安全に遂行するには、執刀医が相応の実力を有することが必須要件で、その判断基準として重要なことは、対象となる智歯の抜歯開始から完了までの一連の流れをスムーズに思い描けるか否かです。本書のなかで、智歯抜歯の難易度評価の指標として提示されているパノラマX線写真をご覧になり、スムーズに抜歯を完遂できるイメージを描けるかどうか、試してみることをお勧めします。

また、智歯抜歯に限らず外科処置を行う際には、術中・術後の合併症や偶発症の発生リスクを可及的に回避しなければなりません。もし発生した場合には、的確な善後策を講じる必要があります。本書では、これらについても過不足なく記載されています。さらに、いわゆる有病者の智歯抜歯に際しては、医科担当医に診療情報の提供を求め、全身疾患の病状を把握したうえで、抜歯の可否を判断しなければなりません。なお、抜歯を執行する場合に

は、的確な周術期管理を講じる必要があります。本書においては、代表的な全身疾患に関する基本的事項については記載されていますが、正直なところ必要十分とは言えません。しかし、これは、開業歯科医院における有病者の智歯抜歯については、決して無理をせず、少しでも不安がある場合には、然るべき病院の口腔外科を紹介すべきである、という執筆陣からのメッセージであろうと思います。

ところで、執刀医の実力が十分であっても、現場の環境によっては、智歯抜歯を安全に遂行できない、あるいは自信を持ってないことがあります。このような場合も、やはり然るべき病院の口腔外科を紹介すべきですが、本書を読むことで、安全な智歯抜歯という観点からの医院の環境についても検証することができます。

以上より、本書は、智歯抜歯を完遂するための優れたマニュアル本であると同時に、然るべき施設を紹介すべき指標を示してくれる良き指南書でもあると結論付けることができます。